

# 令和8年度関係人口創出・拡大のための対流促進事業 採択団体一覧

	団体名(所在地)／事業名	実施予定地域	事業概要
1	一般社団法人 十勝うらほろ樂舎 (北海道浦幌町) 「企業関係人口の深化・可視化による地域資本還流モデル実証事業」	北海道浦幌町	浦幌川流域の自然資本を活用した法人向けリアルサステナビリティ研修を企業と共同開発・試行し、企業関係人口の形成・深化と、資金・人材・知見が地域資本へ還流するモデルを実証する。
2	ボノ株式会社 (東京都文京区) 「地方の食を、若者の挑戦に。文京の食卓・共創プロジェクト」	東京都文京区 長野県天龍村 福島県富岡町	地方の食を入口に、文京区にいる若者・住民が『食べる→交流する→共創する』へと関わりを深める仕組みを構築する。地域の生産者・地域おこし協力隊と文京区の飲食店・学生が毎年共創活動をくり返し、都市から地方を支える関係人口を育てる。
3	株式会社 里山パブリックレーションズ (新潟県十日町市) 「魚沼通り農ゲートウェイ構想」	新潟県十日町市 新潟県魚沼市	「通り農」を軸に都市と魚沼圏 (魚沼市・十日町市) をつなぐ中間支援組織を立ち上げる。“魚沼通り農ゲートウェイ構想”として、都市住民が農の担い手として里山に通い続ける仕組みづくりと、都市の「アーバンファーム」との相互交流を生み出すことで、関係人口の深化・二拠点居住・事前防災を一体となって進める。
4	特定非営利活動法人 京丹波イノベーションラボ (京都府京丹波町) 「“想いでつながるコミュニティ”地域実装事業」	京都府京丹波町	古民家を拠点とした地域対話、主催イベントであるクリスマスマーケット等での地域住民と関係人口による共創の実践、「京丹波編集部」の立ち上げによる取材・発信を一体的に展開し、関係人口と地域住民がともに地域づくりに参画する仕組みを構築。“想いでつながるコミュニティ”を地域に実装する。